

METTS NEWSLETTER

教職課程センター・地域学校教育センター

特集 教員採用試験対策が本格化！

2025年度教員採用試験のスケジュールが各自治体から公表されました。今年度は延べ35人の4年生が受験予定です。また、千葉県や東京都では昨年度から3年生も受験できるようになったため、17人の3年生が受験する予定です。以下に示すのは、本学の学生が受験予定の自治体の一次試験スケジュールです。

<2025年度 教員採用試験一次試験スケジュール>

5月11日（土）	静岡県	7月7日（日）	千葉県、東京都、神奈川県
6月15日（土）	愛知県	7月13日（土）、14日（日）	福島県
6月16日（日）	大分県	7月20日（土）、21日（日）	石川県

METTSでの教員採用試験対策が本格化してきました。METTSで行っている一次試験対策は大きく分けて以下の通りです。

1 教職教養試験対策講座

教育原理、教育法規、教育時事、教育心理、教育史、学習指導要領、各自治体の教育施策の分野から出題される問題への対策をMETTS教員によるライブ講義や市販のビデオ講義を通して指導しています。また、個人でも対策できるようにビデオ講義のURLを受験生全員に配布しています。

2 論作文対策講座

教育に関するテーマについて自分の考えを述べる論作文問題を課す自治体（例：東京都）があります。そのためMETTSでは、読み手に伝わるように論拠に基づいて主張する書き方を、数回の添削指導を通して繰り返し指導しています。

3 面接試験対策講座

千葉県では1次試験から集団面接、東京都や他の自治体では二次試験から個人面接が課されます。METTSでは、過去の試験で出された集団面接のテーマを使って何度も練習を繰り返します。また、個人面接においても同様に過去に聞かれた質問や予想質問に対して、自信を持って意見を明確に伝える練習を繰り返し行います。

4 英語試験対策講座

一次試験には必ず専門試験が含まれます。英語の専門試験では、多くの自治体で読解力を問う英語長文問題や文法や語彙知識を問う英文整序問題、適切な語句の選択を問う英文空所問題等が出題されます。これらの問題に対応できるように英語対策講座を毎週2回実施しています。



金子教授による英語試験対策講座

劔持客員教授による板書講座—教育実習事前対策—

5月7日と14日の2時限に、本学客員教授の劔持勉

先生をお招きして、「板書講座」を実施しました。劔持先生は、福島県の高校教諭、東京都の小学校教諭を務め、その後荒川区教育委員会、東京都教育委員会、教職員研修センターなど行政職として13年、国立市、小金井市で校長職として9年、東京学芸大学特任教授、帝京科学大学教育人間科学部教授などを歴任されました。現在、教育評論家、板書のプロ、教員採用試験アドバイザー等として全国で活躍されています。



本講座では、教育実習を目前にしている学生を対象に、正しい構え方、正しいチョークの持ち方といった板書の基礎基本、自分の名前や「春夏秋冬」の文字の板書練習、やや長い文章の板書についてご指導をいただきました。実践的な講座を終えた学生からは「教育実習前にこの講座に参加できて本当に良かった。板書に対する不安が減りました」と感想を述べていました。

学生たちが、この講座における学びを生かして充実した教育実習にしてくれることを期待しています。

ちば！教職たまごプロジェクト

「ちば！教職たまごプロジェクト」（通称「たまプロ」）とは、千葉県教育委員会と千葉市教育委員会が将来公立学校教員を志望する学生を対象に実施している事業です。県内の学校で年間20日以上の実践研修を通して、教職への理解を深め、教員として必要な資質・能力を高めることを目的としています。具体的には、4月の「教職インターンシップ」での講義を通して制度の説明や危機管理の在り方、より良い児童生徒理解のためのリフレーミング等について学びます。そして、5月以降学級担任や教科指導、学校行事の補助など、年間を通じて小学校や中学校、義務教育学校での実践研修に取り組みます。今年度の「たまプロ」参加学生は11人です。

2024年度 教職課程履修者数

	日	英	中
1年生	35	15	
2年生	11	13	0
3年生	19	14	0
4年生	17	41	2
学科計	82	83	2
合計	167人		

* 4年生人数には科目等履修生（英米語1名、中国語1名）を含む。

2023年度第2回教職課程センターFD研修会

3月25日、2023年度第2回教職課程センターFD研修会を実施しました。教職を目指す学生にも参加を呼びかけ、当日は教員6人と新4年生5人が参加しました。講師は、宇都宮大学国際学部の高橋若菜教授で、「気候危機と脱炭素社会への持続可能な移行」と題して、世界や日本の現状や取組、SDGsの視点などについてお話いただきました。温暖化対策は、しんどい、我慢が必要、お金がかかる、という認識を変える必要があることを、宇都宮市や浦安市の身近な事例を取り上げながら、科学的なデータを示してお話くださいました。参加した学生からは「教員としてだけでなく、社会に出る者としても非常に有益な奥深い内容だった」「もっと時間をかけてもよかった」という声が聞かれ、充実した研修会となりました。



アゴラ活用状況（人）

4月	303
2018年からの延べ数	64,234